

令和3年度 事業報告書

事業計画に従い、新潟市産業振興センター指定管理業務を主要事業として実施し、併せて自主事業を実施いたしました。

これら業務の概要について次のとおり報告いたします。

【新潟市産業振興センター指定管理業務】

本年度は新潟市から5年間の指定を受けた3年目となります。

依然として昨年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大による影響が長引くなか、国・県・市・関連団体から随時示されたイベント・展示会等ガイドラインに基づき当館ガイドラインを策定し、これによる万全な感染防止対策を実施しながら、従来の管理実績・経験を生かし利用者が安心・安全・快適に利用できる会場を多種多様な催事用に提供いたしました。

また、今年度指定管理費の当社から新潟市への清算返金が816万円あまり生じました。

これは主に、後述する新型コロナウイルスの影響による利用減少に伴う光熱費ならびに再委託業務費用の剰余による費用減少です。

この他、自主事業実施による収益から100万円を充当し指定管理料の削減を図りました。

1. 利用状況

全館 [通年]

	令和3年度 (通年)	令和2年度 (8月～3月)	令和1年度 (4月～9月)
件数	114件(152.0%)	75件	94件
利用日数	188日(150.4%)	125日	165日
利用可能日数	320日(146.8%)	218日	183日
全館稼働日率	58.8%(102.6%)	57.3%	90.2%
使用料収入	71,624,737円(187.5%)	38,190,582円	60,630,255円
入場者数(推計)	85,276人(140.7%)	60,629人	233,366人

() 前年通年比

全館 [同期 9月～3月]

	令和3年度	令和2年度	平成30年度
件数	69件(97.2%)	71件	79件
利用日数	111日(95.7%)	116日	155日
利用可能日数	167日(81.1%)	206日	206日
全館稼働日率	66.5%(118.1%)	56.3%	75.2%
使用料収入	46,572,203円(137.4%)	33,895,776円	77,430,540円
入場者数(推計)	57,934人(101.9%)	56,877人	228,865人

() 前年同年比、令和1年度閉館中につき平成30年度同月比

展示ホール 新型コロナウイルスの影響によるキャンセル件数

利用年月	利用規模				合計	
	全面	2/3	1/2	1/3		
令和3年	4月	4		1		5
	5月	2		1	1	4
	6月	4		1	1	6
	7月	3			2	5
	8月	1				1
	9月	3		2	2	7
	10月	2				2
	11月	4			3	7
	12月					0
令和4年	1月	1	1			2
	2月	1			1	2
	3月					0
合計	25	1	5	10	41	

※利用予約申込書提出のあったもの

利用状況につきましては、大規模改修工事後、通年開館初年度となりましたが、新型コロナウイルスによる「利用キャンセル」並びに「ガイドラインに則った入場者数等制限」が引続き行われたにも関わらず、前年度比において全館における利用件数・稼働日率・使用料収入・入場者数の増加傾向が見受けられてきました。

一方、前年同月による比較では、魚類品評会・資格試験・福祉イベントなどの新規利用が増加した反面、多くのリピーターの利用キャンセルにより、最終的に利用件数は減少しましたが、稼働日率・使用料収入・入場者数は増加しました。

2. 施設設備の維持改善関係 (10,328,318 円)

- 1) 改善修繕工事 ロールスクリーン取付工事 他 6 件
- 2) 点検整備工事 サービスヤード駐車場舗装工事 他 5 件
- 3) 一般修繕工事 洗浄便座取替工事 他 1 件

主に劣化の著しい駐車場等アスファルト修繕工事をはじめ、日射によるエントランスホール冷房効率低下を防ぐためのロールスクリーン取付工事、複数主催者利用時において利用会場を一目で確認するためのデジタルサイネージ設置工事など、利用者目線に立った修繕・工事を実施いたしました。

3. 委託業務関係 (17,839,086 円)

機械警備、設備運転管理・清掃、環境衛生、電気保安、音響設備、植栽管理、ゴミ処理、自動ドア、建物・設備・防火点検、除雪、その他

設備管理につきましては、大規模改修後 1 年の保証期間を終える空調設備・吊物装置の各点検再委託業務の契約を締結し、更なる安全・安心・快適な施設を提供できる体制を整えました。

4. 広告などプロモーション活動関係

- 1) ホームページでの空室情報の提供 (変動の都度更新)
- 2) 施設内覧会

【イベント共催】

名 称	にいがた B I Z E X P O 2 0 2 1
会 期	令和 3 年 1 0 月 1 4 日 (木) ~ 1 5 日 (金)
主 催	にいがた B I Z E X P O 2 0 2 1 実行委員会
出展者数	1 2 9 者 / 1 4 2 小間 (昨年 115 者 / 131 小間)
来場者数	3, 1 3 5 人 (昨年 5, 078 人)

【その他】

1) 会議等への参加

2月 16日 鳥屋野潟南西部地区公共施設合同協議会 於：ピクスタジアム

2) 研修会等への参加

6月 23日 内部研修（階層別：新任） 於：陸上競技場

5月 17日～ 6月 30日

内部研修（ハラスメント・メンタルヘルス関連） 於：産業振興センター

10月 5日～12月 13日

内部研修（コンプライアンス関連） 於：産業振興センター

2月 9日 内部研修（普通救命救急） 於：産業振興センター

3) 防災活動への取組み

7月 30日 消防訓練

12月 7日 消防訓練

5. 「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」へ

大規模改修工事後、通年開館初年度でしたが、新型コロナウイルスが感染拡大し、新潟県もまん延防止措置が2回適用され休館する期間がありました。その間でも主催者の方々は新潟市から供給された対策備品（サーマルカメラ・ハンディ検温器・飛沫防止パネル）の有効活用や国・県・市から発出される情報の提供及び綿密な打ち合わせの繰り返しにより中止・延期をすることなく開催したイベントもありました。

まさに「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」の始まりと感じました。

ワクチン集団接種会場にも指定され、これまでの経験を活かした会場設営を指導し、6回とも滞りなく終わりました。

この他、令和3年9月15日、国内最大規模となる5G実証拠点「5Gビジネスラボ」が開設されました。コロナ禍でビジネス環境が大きく変化する中、デジタル技術を活用した新たなビジネスを創出するDX（デジタルトランスフォーメーション）を支援していく新潟市とともに整備された「5Gビジネスラボ」を多くの企業から活用していただけるよう、また施設利用者に安心・安全・快適な施設として利用されるよう努めて参ります。